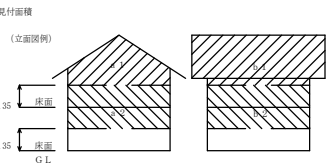


建築基準法施行令第46条第3項に基づく筋違計算表 (S.56.6.1施行)

建築物の概要

1階床面積 (109.06 m²)



(屋根及び壁による保護)

2階建の2階 (1) 重い壁又は屋根 0.21	平壁 (1) 重い壁又は屋根 0.15
2階建の2階 (2) 軽い壁又は屋根 0.15	平壁 (2) 軽い壁又は屋根 0.11
2階建の1階 (1) 重い壁又は屋根 0.33	
2階建の1階 (2) 軽い壁又は屋根 0.29	

(壁及び軸組の種類による倍率)

区分	軸 組	倍率
(1)	土盛り壁、木づり片面壁	0.5
(2)	イ、木づり両面壁 ロ、厚さ1.5cm幅9cmの木材、φ9の鉄筋の筋違	1.0
(3)	厚さ3cm幅9cmの木材の筋違	1.5
(4)	厚さ4.5cm幅9cmの木材の筋違	2.0
(5)	9cm角の木材の筋違	3.0
(6)	(2)～(4)の筋違をタスキに入れる	各2倍
(7)	(5)の筋違をタスキに入れる	5.0
(8)	(1)、(2)の壁と(2)～(6)の筋違を併用	それぞれの和
(9)	構造用合板(告示第163号)	2.5

床面積による軸組計算				見付面積による軸組計算									
梁間、桁行方向共				梁間方向				桁行方向					
床面積 109.06		0.15 0.11 0.21 0.15		a 1 25.8 × 0.5 = B				b 1 46.3 × 0.5 = C					
要求される軸組の長さ		A 11.9966 m		要求される軸組の長さ B 12.9 m				要求される軸組の長さ C 23.15 m					
有効軸組の長さ	区分	桁行方向軸組長さ × 個所 × 倍率 = 有効軸組長さ				梁間方向軸組長さ × 個所 × 倍率 = 有効軸組長さ							
		5	0.909	6	3	16.362	5	0.909	8	3	21.816		
		5	1.818	6	3	32.724	5	1.818	4	3	16.362		
						0					0		
						0					0		
						0					0		
						0					0		
						0					0		
						0					0		
						0					0		
判定		B 12.9 又は A 11.9966 < 49.086 m				C 23.15 又は A 11.9966 < 38.178 m							
		49.086				38.178							
床面積		a 1 a 2 0 0 × 0.5 = E				b 1 b 2 0 0 × 0.5 = F							
0		0.33 0.29				D 0 m				F 0 m			
要求される軸組の長さ		D 0 m				要求される軸組の長さ E 0 m				要求される軸組の長さ F 0 m			
有効軸組の長さ	区分	桁行方向軸組長さ × 個所 × 倍率 = 有効軸組長さ				梁間方向軸組長さ × 個所 × 倍率 = 有効軸組長さ							
					0				0				
					0				0				
					0				0				
					0				0				
					0				0				
					0				0				
					0				0				
					0				0				
					0				0				
判定		E 0 又は D 0 < 0 m				F 0 又は D 0 < 0 m							
		0				0							

1階梁間方向	1階桁行方向
W1部分の床面積= 12.12/49.999 必要壁量=(AW1) 30.297 存在壁量=壁及び軸組の種類による倍率にW1部分の軸組長を乗じた数値の和=(SW1)	N1部分の床面積= 9.999/49.12.12 必要壁量=(AN1) 30.297 存在壁量=壁及び軸組の種類による倍率にN1部分の軸組長を乗じた数値の和=(SN1)
軸組長さ 0.909m × 箇所数 2 箇所 × 壁倍率 3 倍 =SW1-① 5.454 軸組長さ 1.818m × 箇所数 2 箇所 × 壁倍率 3 倍 =SW1-② 8.181 軸組長さ 0 m × 箇所数 0 箇所 × 壁倍率 0 倍 =SW1-③ 0 軸組長さ 0 m × 箇所数 0 箇所 × 壁倍率 0 倍 =SW1-④ 0 軸組長さ 0 m × 箇所数 0 箇所 × 壁倍率 0 倍 =SW1-⑤ 0 合計 (SW1) 13.635	軸組長さ 0.909m × 箇所数 2 箇所 × 壁倍率 3 倍 =SN1-① 5.454 軸組長さ 1.818m × 箇所数 2 箇所 × 壁倍率 3 倍 =SN1-② 8.181 軸組長さ 0 m × 箇所数 0 箇所 × 壁倍率 0 倍 =SN1-③ 0 軸組長さ 0 m × 箇所数 0 箇所 × 壁倍率 0 倍 =SN1-④ 0 軸組長さ 0 m × 箇所数 0 箇所 × 壁倍率 0 倍 =SN1-⑤ 0 合計 (SN1) 16.362
壁量充足率(存在壁量: SW1) 13.64 ÷ 必要壁量 (BN1) 3.33267 = (JW1) 4.0913・・・①	壁量充足率(存在壁量: SN1) 16.362 ÷ 必要壁量 (BN1) 3.33267 = (JN1) 4.9095・・・①
E1部分の床面積= 12.12/49.999 必要壁量=(AE1) 30.297 存在壁量=壁及び軸組の種類による倍率にE1部分の軸組長を乗じた数値の和=(SE1)	S1部分の床面積= 9.999/49.12.12 必要壁量=(AS1) 30.297 存在壁量=壁及び軸組の種類による倍率にS1部分の軸組長を乗じた数値の和=(SE1)
軸組長さ 0.909m × 箇所数 2 箇所 × 壁倍率 3 倍 =SE1-① 5.454 軸組長さ 1.818m × 箇所数 2 箇所 × 壁倍率 3 倍 =SE1-② 8.181 軸組長さ 0 m × 箇所数 0 箇所 × 壁倍率 0 倍 =SE1-③ 0 軸組長さ 0 m × 箇所数 0 箇所 × 壁倍率 0 倍 =SE1-④ 0 軸組長さ 0 m × 箇所数 0 箇所 × 壁倍率 0 倍 =SE1-⑤ 0 合計 (SE1) 13.635	軸組長さ 0.909m × 箇所数 4 箇所 × 壁倍率 3 倍 =SS1-① 10.908 軸組長さ 1.818m × 箇所数 2 箇所 × 壁倍率 3 倍 =SS1-② 10.908 軸組長さ 0 m × 箇所数 0 箇所 × 壁倍率 0 倍 =SS1-③ 0 軸組長さ 0 m × 箇所数 0 箇所 × 壁倍率 0 倍 =SS1-④ 0 軸組長さ 0 m × 箇所数 0 箇所 × 壁倍率 0 倍 =SS1-⑤ 0 合計 (SS1) 21.816
壁量充足率(存在壁量: SE1) 13.635 ÷ 必要壁量 (BE1) 3.33267 = (JE1) 4.0913・・・②	壁量充足率(存在壁量: SS1) 21.816 ÷ 必要壁量 (BS1) 3.33267 = (JS1) 6.5461・・・②
①及び②>1.0・・・OK ①及び②<1.0の場合 壁量充足率の小さな方(JW1又はJE1) 壁量充足率の小さな方(JW1又はJE1) = 4.0913・・・②	①及び②>1.0・・・OK ①及び②<1.0の場合 壁量充足率の小さな方(JN1又はJS1) 壁量充足率の小さな方(JN1又はJS1) = 4.9095・・・②
2階梁間方向	2階桁行方向
W2部分の床面積= 0 必要壁量=(AW2) 0 存在壁量=壁及び軸組の種類による倍率にW2部分の軸組長を乗じた数値の和=(SW2)	N2部分の床面積= 0 必要壁量=(AN2) 0 存在壁量=壁及び軸組の種類による倍率にN2部分の軸組長を乗じた数値の和=(SN2)
軸組長さ 0 m × 箇所数 0 箇所 × 壁倍率 0 倍 =SW2-① 0 軸組長さ 0 m × 箇所数 0 箇所 × 壁倍率 0 倍 =SW2-② 0 軸組長さ 0 m × 箇所数 0 箇所 × 壁倍率 0 倍 =SW2-③ 0 軸組長さ 0 m × 箇所数 0 箇所 × 壁倍率 0 倍 =SW2-④ 0 軸組長さ 0 m × 箇所数 0 箇所 × 壁倍率 0 倍 =SW2-⑤ 0 合計 (SW2) 0	軸組長さ 0 m × 箇所数 0 箇所 × 壁倍率 0 倍 =SN2-① 0 軸組長さ 0 m × 箇所数 0 箇所 × 壁倍率 0 倍 =SN2-② 0 軸組長さ 0 m × 箇所数 0 箇所 × 壁倍率 0 倍 =SN2-③ 0 軸組長さ 0 m × 箇所数 0 箇所 × 壁倍率 0 倍 =SN2-④ 0 軸組長さ 0 m × 箇所数 0 箇所 × 壁倍率 0 倍 =SN2-⑤ 0 合計 (SN2) 0
壁量充足率(存在壁量: SW2) 0 ÷ 必要壁量 (BN2) 0 = (JW2) 401V/0!・・・①	壁量充足率(存在壁量: SN2) 0 ÷ 必要壁量 (BN2) 0 = (JN2) 401V/0!・・・①
E2部分の床面積= 0 必要壁量=(AE2) 0 存在壁量=壁及び軸組の種類による倍率にE2部分の軸組長を乗じた数値の和=(SE2)	S2部分の床面積= 0 必要壁量=(AS2) 0 存在壁量=壁及び軸組の種類による倍率にS2部分の軸組長を乗じた数値の和=(SE2)
軸組長さ 0 m × 箇所数 0 箇所 × 壁倍率 0 倍 =SE2-① 0 軸組長さ 0 m × 箇所数 0 箇所 × 壁倍率 0 倍 =SE2-② 0 軸組長さ 0 m × 箇所数 0 箇所 × 壁倍率 0 倍 =SE2-③ 0 軸組長さ 0 m × 箇所数 0 箇所 × 壁倍率 0 倍 =SE2-④ 0 軸組長さ 0 m × 箇所数 0 箇所 × 壁倍率 0 倍 =SE2-⑤ 0 合計 (SE2) 0	軸組長さ 0 m × 箇所数 0 箇所 × 壁倍率 0 倍 =SS2-① 0 軸組長さ 0 m × 箇所数 0 箇所 × 壁倍率 0 倍 =SS2-② 0 軸組長さ 0 m × 箇所数 0 箇所 × 壁倍率 0 倍 =SS2-③ 0 軸組長さ 0 m × 箇所数 0 箇所 × 壁倍率 0 倍 =SS2-④ 0 軸組長さ 0 m × 箇所数 0 箇所 × 壁倍率 0 倍 =SS2-⑤ 0 合計 (SS2) 0
壁量充足率(存在壁量: SE2) 0 ÷ 必要壁量 (BE2) 0 = (JE2) 401V/0!・・・②	壁量充足率(存在壁量: SS2) 0 ÷ 必要壁量 (BS2) 0 = (JS2) 401V/0!・・・②
①及び②>1.0・・・OK ①及び②<1.0の場合 壁量充足率の小さな方(JW2又はJE2) 壁量充足率の小さな方(JW2又はJE2) = 4.0913・・・②	①及び②>1.0・・・OK ①及び②<1.0の場合 壁量充足率の小さな方(JN2又はJS2) 壁量充足率の小さな方(JN2又はJS2) = 4.9095・・・②